

平成 27 年 3 月 3 日

大学院 経営情報学研究科
研究科長 植松 康祐 様

審査委員会
主査 古殿 幸雄
副査 矢島 彰
学外副査 藪内 賢之
(下関市立大学)



博士学位申請論文に関する審査報告書

申請者 陳 法恩
論文題名 中国民族系自動車企業のファジィ経営戦略分析
—BYD 自動車と奇瑞自動車の事例研究—

陳法恩氏の学位申請論文を審査した結果について、以下の通り報告する。

陳氏の論文は、中国民族系自動車企業のファジィ経営戦略分析と題して、経営外部環境分析にファイブフォース分析を取り上げて整理し、経営内部環境分析に VRIO 分析を取り上げて整理・拡張したファジィ VRIO 分析を提案し、ここから SWOT 分析を行うまでのファジィ経営戦略分析について論じている。そして、事例研究として、BYD 自動車と奇瑞自動車を取り上げ、これらの分析を適用した上で、ファジィ経営戦略分析の有用性や妥当性について明らかにし、両社の経営戦略についても言及している。

中国では、2000 年頃から多くの民族系自動車企業が設立され、10 数年の間で、その販売台数は、中国国内の合弁自動車企業に匹敵する市場シェアを獲得するようになった。

しかし、中国民族系自動車業界は、短期間で急成長したため、様々な問題を抱えている。そこで、本論文では、この様々な問題をより明確にするために、また、中国民族系自動車業界が、中国自動車市場の中に置かれている状況や今後取るべき経営・競争戦略を検討するために、ポーターの競争戦略におけるファイブフォース分析（①新規参入の脅威、②購入者の交渉力、③供給者の交渉力、④代替品や代替サービスの脅威、⑤業界内の競争の 5 つの要因を分析する）を用いることで中国民族系自動車業界の構造上の特徴を明らかにしている。

次に、中国民族系自動車企業の代表として、BYD 自動車と奇瑞自動車を取り上げ、各々の経営環境分析を行っている。その際、パーニーのリソース・ベスト・ビューを行う際の具体的なフレームワークである VRIO 分析に着目し、この VRIO 分析にファジィ概念を導入したファジィ VRIO 分析を新たに提案している。

そこで、このファジィ VRIO 分析を用いて、BYD 自動車と奇瑞自動車の経営状況についての分析を行い、両社の経営資源の競争優位性を明らかにしている。また、ファジィ VRIO 分析結果の妥当性を、定量データを用いて検証している。

これら経営外部環境分析結果と経営内部環境分析結果を用いて、BYD 自動車と奇瑞自動車の SWOT 分析を行い、BYD 自動車と奇瑞自動車の経営戦略について検討し、詳細な戦略の方向性や成功要因を明らかにするなど、より有効な経営戦略について言及している。

本研究の成果は、経営戦略の分析や策定のための有用な方法として、経営情報学や関連する分野において大きな貢献が期待できる。また、中国民族系自動車業界の今後の発展に対しても大きく貢献するばかりでなく、世界一に成長した中国市場の競争戦略を検討する場合においても有用な研究であると考え。以上のように、本論文は、博士（経営情報学）の学位を授与するに相応しい論文であると判定する。

したがって、博士学位申請者は、本学位申請論文に加え、査読つき論文 3 編を含む計 4 編の論文を発表しており、博士（経営情報学）の学位を授与される資格があると認定する。

論文要旨

第 1 章では、序論として、中国自動車市場の背景及び本論文の意義について述べられており、研究方法、先行研究並びに研究目的について言及するとともに、本論文の構成について述べられている。

第 2 章では、中国自動車産業の発展プロセスと特徴として、中国建国後から現在までの中国自動車産業の史的展開を、①中国建国後～1978 年の改革開放の期間、②1978 年の改革開放～2001 年の WTO 加盟の期間、③2001 年の WTO 加盟後～2010 年の期間、④2010 年以降の四段階に分け、その発展プロセスと特徴について整理している。

第 3 章では、中国民族系自動車の 5F 分析として、ポーターの競争戦略における 5F（ファイブフォース）分析を用いて、中国民族系自動車業界の 5 つの要因（①新規参入の脅威、②購入者の交渉力、③供給者の交渉力、④代替品や代替サービスの脅威、⑤業界内の競争）を分析し、その業界構造の特徴を明らかにしている。

第 4 章では、ファジィ VRIO 分析として、経営内部資源に対する定性分析の一つである VRIO 分析に、ファジィ理論を導入する方法について述べ、新たなファジィ VRIO 分析を提案している。

第 5 章では、BYD 自動車のファジィ VRIO 分析と SWOT 分析として、中国民族系自動車企業の最大手の一つである BYD 自動車について分析している。まず、BYD 自動車の概要、歴史、特徴について述べ、ファジィ VRIO 分析を用いて、BYD 自動車の経営戦略につ

いて検討し、BYD 自動車の SWOT 分析を行うことで、BYD 自動車のより有効な経営戦略について言及している。

第6章では、奇瑞自動車のファジィ VRIO 分析と SWOT 分析として、中国民族系自動車企業のもう一つの最大手である奇瑞自動車を取り上げている。まず、奇瑞自動車の概要、歴史、特徴について述べ、ファジィ VRIO 分析と SWOT 分析を用いて、奇瑞自動車の経営戦略について検討し、奇瑞自動車のより有効な経営戦略について言及している。

第7章では、結論として、本論文で得られた成果をまとめ、今後の展開と課題について述べられている。

以上